組合だより

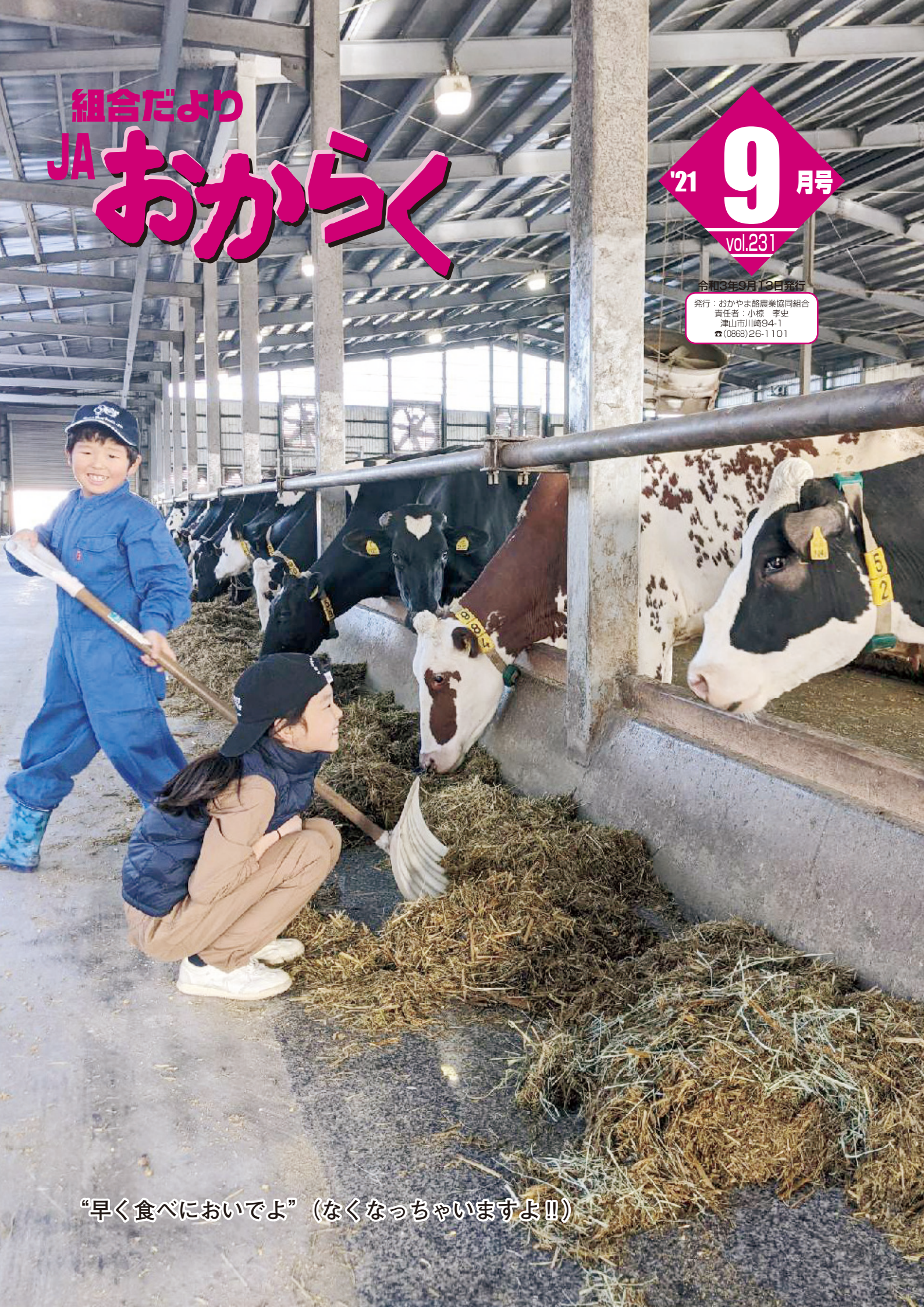
JAおからく

'21 9月号

vol.231

令和3年9月13日発行

発行：おかやま酪農業協同組合
責任者：小椋　孝史
津山市川崎94-1
☎(0868)26-1101



“早く食べにおいでよ”（なくなっちゃいますよ!!）

現況調査まとまる

乳牛総頭数は15，222頭

令和3年8月1日現在での現況調査を行いましたので、その結果をご報告いたします。組合員の皆様には、ご協力いただき、ありがとうございました。

☆戸数・頭数

乳牛の飼養戸数及び頭数は表1のとおり184戸、15，222頭と前年8月に比べ戸数では10戸、頭数では199頭の減少となりました。品種別ではホルスタイン種は13，594頭（159頭減）ジャージー種他は1，628頭（40頭減）でした。

飼養戸数の内訳は、表2のとおり関係機関を除く搾乳農家が181戸、育成農家4戸、関係機関4戸です。また、肉用牛飼養農家は35戸でした。

経産牛頭数は11，169頭（156頭減）育成牛頭数は4，053頭（43頭減）。1戸当たりの平均飼養頭数は80・5頭（3・4頭増）、平均経産牛頭数は59・1頭（2・5頭増）。育成牛率は26・6％となり、前年と同様です。

☆各地区の飼養状況

乳牛飼養総頭数を地区ごとに見ると（表1）南支所では、西大寺地区が108頭減少、備南地区が107頭増頭、びほく地区が54頭増頭。津山支所では、勝英地区が89頭減少、津山地区が133頭減少、真庭地区が30頭減少となりました。全体では199頭の減少となっております。

また、育成牛率で全体の平均より高い地区は西大寺・津山・真庭・びほくの順となっています。

☆飼養頭数別の酪農家戸数

表3の飼養頭数別酪農家戸数をみますと30頭未満の飼養農家は65戸（34・4％）、30頭から49頭の飼養農家は40戸（21・2％）、50頭から79頭の飼養農家は45戸（23・8％）、80頭から149頭の飼養農家は25戸（13・2％）、150頭から499頭の飼養農家は11戸（5・8％）、500頭以上の飼養農家3戸（1・6％）となっています。

☆哺育素牛・肥育・和牛繁殖関係の頭数

哺育素牛・肥育・和牛繁殖牛の総頭数は10，623頭です。うち哺育農家、肥育農家、和牛繁殖農家の飼養するホルスタイン・F1・和牛等の頭数は9，602頭となっています。

また、酪農家の飼養する和牛・F1・等の哺育素牛・肥育・和牛繁殖牛の総頭数は1，021頭です。

☆飼料作付面積

自給飼料の作付面積については、全体で1，606ha、スーダン・ソルゴー、とうもろこし、その他牧草の順でした。

（生産支援課）

乳牛頭数等取りまとめ表（表1）

令和3年8月1日現在

	南支所				津山支所				おからく合計
	西大寺	備南	びほく	小計	勝英地区	津山地区	真庭地区	小計	
乳牛飼養戸数（対前年増減）	30（－1）	25（－2）	22（－1）	77（－4）	29（－3）	36（－2）	42（－1）	107（－6）	184（－10）
乳牛総頭数（対前年増減）	1,228（－108）	6,220（107）	1,106（54）	8,554（53）	2,034（－89）	1,836（－133）	2,798（－30）	6,668（－252）	15,222（－199）
経産牛頭数（対前年増減）	820（－82）	4,773（－30）	811（43）	6,404（－69）	1,619（－29）	1,227（－81）	1,919（23）	4,765（－87）	11,169（－156）
経産牛頭数の占める割合（％）	7.3%	42.7%	7.3%	57.3%	14.5%	11.0%	17.2%	42.7%	
経産牛率（％）	66.8%	76.7%	73.3%	74.9%	79.6%	66.8%	68.6%	71.5%	73.4%
育成牛率（％）	33.2%	23.3%	26.7%	25.1%	20.4%	33.2%	31.4%	28.5%	26.6%
ホルスタイン種	1,211	6,216	1,095	8,522	2,034	1,827	1,211	5,072	13,594
ジャージー種他	17	4	11	32	0	9	1,587	1,596	1,628

※酪大第1牧場及び第2牧場は1農場とする。

おからく現況調査総括表（表２）

令和３年８月１日現在

		南支所				津山支所				おからく合計
		西大寺	備南	びほく	小計	勝英地区	津山地区	真庭地区	小計	
酪農家戸数	搾乳農家	29	25	22	76	29	35	41	105	181
	育成農家	1			1	1	1	1	3	4
	合計	30	25	22	77	30	36	42	108	185
関係機関戸数	搾乳農家	1			1		1	1	2	3
	育成農家				0			1	1	1
	合計	1	0	0	1	0	1	2	3	4
酪農場総数（乳牛飼養戸数）	搾乳農家	30	25	22	77	29	36	42	107	184
	育成農家	1			1	1	1	2	4	5
	合計	31	25	22	78	30	37	44	111	189
肉用牛飼養農家戸数		2	5	4	11	7	14	3	24	35
総農家戸数（関係機関を含む）		33	30	26	89	37	51	47	135	224
ホルスタイン頭数	６ヶ月未満	83	277	65	425	82	136	95	313	738
	６～24ヶ月	280	951	224	1,455	323	448	264	1,035	2,490
	24ヶ月以上	848	4,988	806	6,642	1,629	1,243	852	3,724	10,366
	合計	1,211	6,216	1,095	8,522	2,034	1,827	1,211	5,072	13,594
	うち経産牛頭数	811	4,769	800	6,380	1,619	1,222	819	3,660	10,040
ジャージー他頭数	６ヶ月未満	3			3		1	126	127	130
	６～24ヶ月	3			3		3	336	339	342
	24ヶ月以上	11	4	11	26		5	1,125	1,130	1,156
	合計	17	4	11	32	0	9	1,587	1,596	1,628
	うち経産牛頭数	9	4	11	24		5	1,100	1,105	1,129
乳用牛総飼養頭数		1,228	6,220	1,106	8,554	2,034	1,836	2,798	6,668	15,222
経産牛頭数		820	4,773	811	6,404	1,619	1,227	1,919	4,765	11,169
乳用牛１戸当たり飼養頭数		39.6	248.8	50.3	109.7	67.8	49.6	63.6	60.1	80.5
乳用牛１戸当たり経産牛頭数		26.5	190.9	36.9	82.1	54.0	33.2	43.6	42.9	59.1

※酪大第１牧場及び第２牧場は１農場とする。

地区別酪農家戸数（育成農家・関係機関を含む）（表３）

令和３年８月１日現在

支所・事務所			平均年齢	飼養頭数別酪農家戸数													
				1～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～79	80～99	100～149	150～249	250～499	500～999	1000～	計
南支所	西大寺	小計	64	2	5	5	5	5	4	3	0	2	0	0	0	0	31
	備南	小計	55	1	3	3	0	3	1	3	1	4	2	1	2	1	25
	びほく	小計	60	1	3	9	3	2	1	0	0	1	1	1	0	0	22
	南支所	計	60	4	11	17	8	10	6	6	1	7	3	2	2	1	78
津山支所	勝英	小計	58	2	1	6	5	3	1	4	2	4	0	2	0	0	30
	津山	小計	60	3	4	6	6	1	6	5	2	3	1	0	0	0	37
	真庭	小計	55	2	4	5	3	4	9	8	1	5	3	0	0	0	44
	津山支所	計	57	7	9	17	14	8	16	17	5	12	4	2	0	0	111
合計			58	11	20	34	22	18	22	23	6	19	7	4	2	1	189

※酪大第１牧場及び第２牧場は１農場とする。

「供卵牛情報と採卵計画（10月分）」について

10月の採卵計画をお知らせします。

ご利用の場合やより詳細な情報が必要な場合は、最寄りの家畜保健衛生所、受精卵移植師の方等にご相談ください。

なお、供卵牛の評価を牛群検定成績から行うため、検定参加農家の方を譲渡対象としています。

また、採卵予定日や交配予定種雄牛は牛の体調・受胎状況により、急遽変更になる場合がありますので、あらかじめご了承願います。

11月の採卵は25日㈭を予定しています。

上段：供卵牛（元系統）識別番号 中段：交配予定種雄牛 下段：改良の方向性	牛群改良情報（2021.8月）				採卵予定日
	評価種別	指数名	数値	%順位	
ＯＡＣ　パール　キング　パトリ　プリズム　ＥＴ（プロミス）1407270645 交配予定♂：ハートジエンリー　リチヤード　チヤール　ＥＴ パトリは高産乳成分であり、かつ低い乳房炎スコア、短い空胎日数などの管理形質に秀でる。泌乳・脂肪量が高い、飼料効率が優れるＴＰＩ全米１位のチャールを交配。「高産乳能力で飼い易い牛」を！	EBV	総合指数	2027	1	10／21
		産乳成分	1691	2	
		耐久性成分	204	16	
		疾病繁殖成分	132	7	
		乳代効果	89387	6	
		長命連産効果	－	－	
ＯＡＣ　ヒロイン　キングボーイ　ヒユツテ　ヒラリー　ＥＴ（ヒラリー）1378071166 交配予定♂：パインツリー　バーリー　ＥＴ ヒユツテは上のパトリと似て高産乳・体細胞スコアも低い。パトリとの違いは乳器形状がより良く、より大人しい点。今回は娘牛の妊娠率（ＤＰＲ）が非常に高く、後継牛群の繁殖性の向上が見込めるバーリーを交配。「大人しく目立たないけど、こっそり稼いでくれる牛」を期待。	EBV	総合指数	1934	2	10／21
		産乳成分	1583	3	
		耐久性成分	272	9	
		疾病繁殖成分	79	21	
		乳代効果	110456	3	
		長命連産効果	－	－	
ＯＡＣ　エメラルド　ヨダー　エクシー　エボニー　ＥＴ（エボニー）1378071197 交配予定♂：パインツリー　バーリー　ＥＴ エクシーは名牛エボニーの系統。この牛の特徴は乳量は平均的だが脂肪量が圧倒的に多く、今回の牛の中ではやや小さい部類。今回は繁殖性に優れるバーリーを交配し、併せて乳頭配置も整えたい。「サイズ中庸で、乳脂肪率改善のスペシャリスト牛」がご希望の方に！	GEBV	総合指数	1596	4	10／21
		産乳成分	1375	5	
		耐久性成分	209	16	
		疾病繁殖成分	12	52	
		乳代効果	30681	38	
		長命連産効果	68030	7	
ＯＡＣ　オスピ　モーグル　オール　ブランデイー　ＥＴ（ブランディ）1407270638 交配予定♂：ウエストコースト　アルコーブ　ＥＴ オールの泌乳形質はエクシーと似ており、乳量は平均的だが、乳脂肪率が非常に高い。また特に乳器形状に優れたデーリィな牛。今回、ＬＰＩカナダ１位のアルコーブで、乳脂肪量を維持しつつ、泌乳量・繁殖性の改善を図る。「デーリィかつ乳脂肪率改善のスペシャリスト牛」を。	GEBV	総合指数	1421	6	10／21
		産乳成分	1108	11	
		耐久性成分	420	2	
		疾病繁殖成分	－107	94	
		乳代効果	22735	44	
		長命連産効果	36053	29	

※色は上位20％以内を示します。
※EBV：推定育種価、GEBV：EBV＋ゲノミック

岡山県農林水産総合センター　畜産研究所

ＳＡ対策で乳質改善！（前編）

高梁家畜保健衛生所

高梁市の上森牧場が約２年間黄色ブドウ球菌（ＳＡ）による乳房炎対策を実施しました。
今回はその取り組みについて、上森さんにお話ししていただきます。

乳質表彰おめでとうございます！２年前からは想像できないですね。
改善に取り組んだきっかけは何ですか？

ずっとＳＡを減らしたいと思っていました。
新規感染牛の頭数が増えたのをきっかけに、本格的に対策に取り組みました。

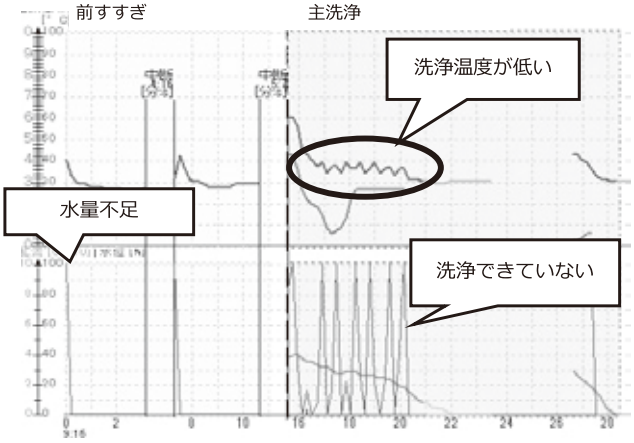
具体的にどんなことに取り組んだのですか？

主にミルカーの洗浄改善と搾乳手技の見直しです。

ラクトコーダーでミルカーの洗浄不良がわかったんですね。

目で見ただけでは洗浄不良がわかりませんでしたが、
グラフで見ると一目瞭然でした。
ミルカーの台数に対し、水量が足りていなかったので、
洗浄槽を大きいものに変えました。

ラクトコーダーによる洗浄確認



洗浄槽を変更

【before】

半円型（４台用）

・ライナーが水平にならない
・バケットを追加し５台を洗浄

【after】

四角型（６台用）

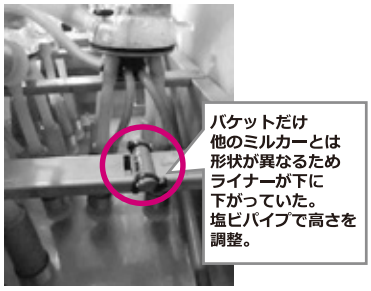
・６台用に変更
・水量を増加

バケットを自動洗浄していたんですね。

洗浄不良の改善

バケットが水を吸いすぎて洗浄できていない
他のミルカーは水量が不足

・水量を増加
・バケットの位置を少し上げた



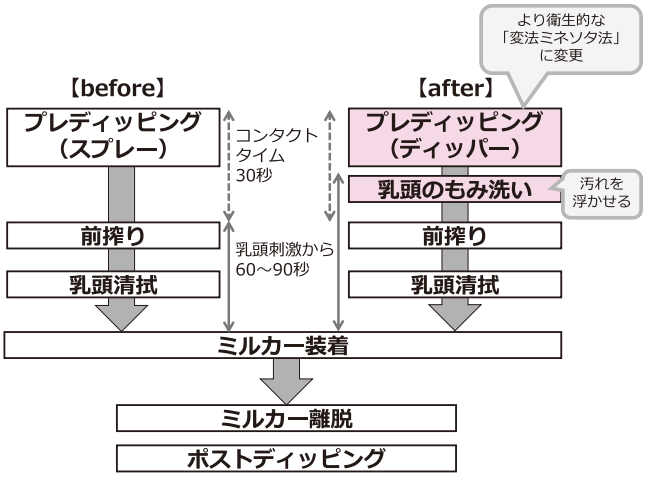
バケットが水を吸いすぎていたせいで、他のミルカーは水が不足していました。バケットの形状が他のミルカーと違うので、ライナーの位置がバケットだけ洗浄槽の底に近かったのです。
そこで洗浄ブリッジに細工をして、バケットの位置を少し上げてやると、洗浄不良が改善されました。

搾乳手技をどのように見直したのですか？

乳頭刺激からミルカー装着までのタイミングが早かったので、60～90秒で装着するように改善しました。
さらにプレディッピング後、乳頭を手でもみ洗いする「変法ミネソタ法」を取り入れました。
下ろしの悪い牛はマシンストリッピングをしていたのですが、乳頭口が傷んで乳房炎になると聞いて中止しました。

家保から「つける我慢！はずす勇気！」と説得されていましたね(笑)。

搾乳手技の改善



変法ミネソタ法

スタート!!

① 余分な汚れを落とす

乳頭についている汚れを軽くこすって落としましょう。

（汚れていると、ディップピング液の効果が落ちてしまいます！）

② プレディップピングをする

根元までしっかりと浸けましょう。

（プレディップピング用の液を使いましょう。ポストと兼用できないものもあります。）

③ もみ洗いする

プレディップピング液をもみ込むイメージでもみ洗いしましょう。
特に乳頭口は念入りに親指でもみ込みましょう。

④ 余分なディップピング液を落とす

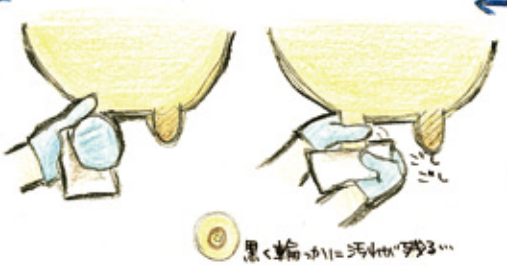
もみもみ後、指で乳頭を軽くはじき、余分なディップピング液をキレイに落としましょう。

⑤ 前搾りをする

奥の乳頭から前搾りしましょう。
5回以上、乳頭に張りが出るまで！

（ストリットカップも使用し、ブツの確認!!）

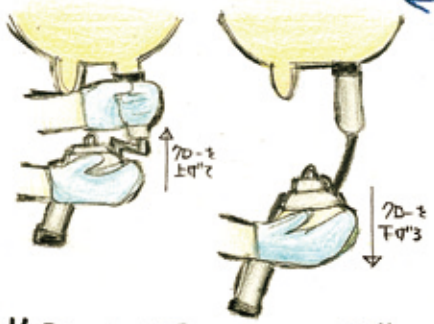
⑥ 清拭する



ペーパータオル等でよく拭き取りましょう。
特に乳頭の先、乳頭口周辺は両手でしっかりと拭き取りましょう!!

（やさしく、そしてしっかりと拭きましょう！）

⑦ ミルカー装着！



前搾りした順番にミルカーを装着しましょう。

（空気を流入しないように注意しましょう！）

⑧ ポストディップピング

根元までしっかりと、たっぷり液に浸しましょう。

ディッパー内の残りの液は1頭ずつ捨てましょう。

ゴール!!

変法ミネソタ法でクリーンな搾乳を。

おいしい牛乳を毎日搾ってくれてありがとう。

その結果どうなりましたか？

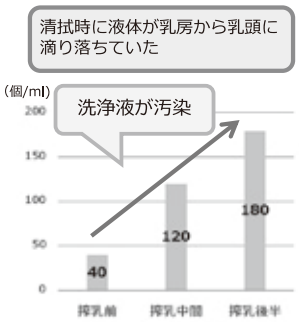
乳の上がりが良くなりました。
以前はプレディッピング後に30秒のコンタクトタイムを取っていましたが、その時間を利用してもみ洗いをすることでそれが乳頭刺激になります。
マシンストリッピングを中止すると残乳で乳房炎になると思っていたのですが、乳房炎にはなりませんでした。
しっかり乳頭刺激を行い、ミルカーを装着するタイミングを改善したことで、むしろ今までより早く搾れるようになりました。

清拭用タオルを濡らしたものから乾いたものに変えたんですね。

清拭タオルの見直し

【before】

・搾乳時に清拭用洗浄液にタオルを浸漬し、その都度絞って使用



搾乳タオル抽出液の細菌数

【after】

・洗浄液の使用を中止
・専用洗剤で洗濯済のタオルを直接乳頭清拭に使用

搾乳前にタオルを洗浄液に漬けて絞って使っていましたが、洗浄液を入れたバケツに手を入れてタオルを取るので、洗浄液の菌数が段々増えていくことがわかりました。
そこで、洗濯後脱水したタオルを直接使うように変更しました。

脱水したタオルで問題はなかったですか？

乳頭の汚れが落ちにくいのではと心配でしたが、プレディップ液を使ってもみ洗いしているため、そこまで気になりませんでした。
タオルを入れたバケツも軽くなり、搾乳作業工程が一つ省略されたので、楽になりました。

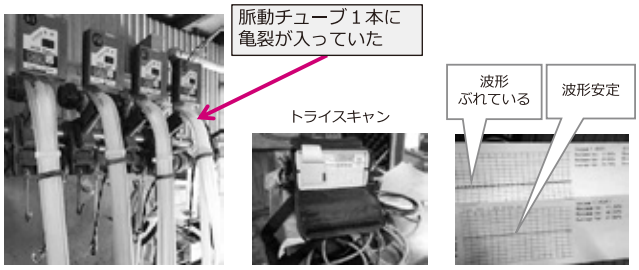
他にはどんなことを改善されたんですか？

トライスキャンでミルカー１台のクロー内圧が低いことがわかりました。
脈動チューブ１本に穴が空いていたことが原因とわかったので、すぐに新品に交換しました。

通路に敷料の山を２～３箇所置いて、搾乳前に牛床に撒いていましたが、糞尿で汚れると指摘され、撤去しました。
通路が使えるようになったので搾乳ワゴンを作りました。
重い物を運ばなくて良くなり、清拭用タオルも床に直置きしなくなったので衛生的に保てるようになりました。
もっと早く実践すれば良かったです（笑）。
敷料を撤去してから環境性の乳房炎が減りました。

ミルククロー内圧の変動をトライスキャンで発見

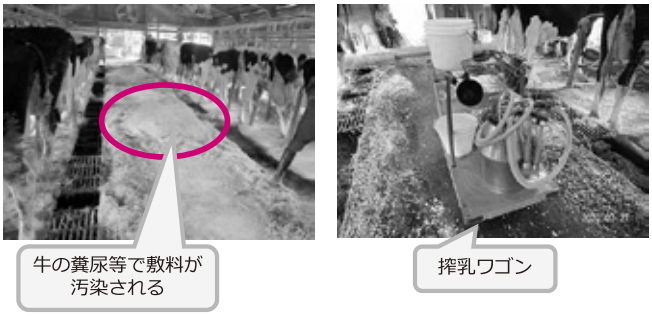
脈動チューブの一本に穴が開いていたためクロー内圧が上がらなかった。
搾乳は出来るが時間がかかり乳房炎の原因となる。



通路の敷料を撤去

【before】
・通路に敷料を常設し搾乳前に牛床に散布

【after】
・敷料を撤去
・搾乳ワゴンを作成



上森さんはＳＡ対策として、ミルカーの洗浄不良と搾乳手技を改善しました。
次号では、改善した結果どうなったかについてお聞きします。

（次号へ続く）

お知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の共進会は全て中止となりました。

- 第19回津山支所乳牛共進会
- 第３回瀬戸内ホルスタイン共進会
- 第19回勝英地域畜産共進会
- 第17回びほく地区乳牛共進会
- 第60回蒜山地区乳牛共進会
- 第76回岡山県畜産共進会

〝乳牛のフットケア②〟

全国酪農業協同組合連合会　大阪支所　中四国事務所　伊藤　湧也

はじめに

いつも大変お世話になっております。初秋の季節とはいえ暑い日が続きますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。前回に引き続き「乳牛のフットケア」と題し、蹄の問題についてお話させていただきます。

前回は削蹄の必要性、蹄の構造、現場で使われている跛行スコアについてお話しいたしました。蹄の問題を解決する上でより早く跛行牛を見つけて処置をすることが、経済損失を最小限に抑えるために重要になりますが、これだけ行っていれば跛行牛が減るわけではありません。農場で起きている蹄病を正しく認識し、対策を考えることが大切です。今回は現場で実際に起きている蹄病について栄養管理を含めたお話をしようと思います。少しの間お付き合いいただければ幸いです。

感染性ではない蹄病

（出典：Hoard's Dairyman,Vol.159, No.14,Aug.25,2014）

細菌感染を伴わない蹄の角質における外傷や生成不良などが起因して発生する蹄病を指します。感染性の蹄病と異なり、跛行スコアの悪化に伴い少しずつ重症化していきます。これらの蹄病は早期発見ができず治療が遅れた場合、治癒に多くの時間がかかってしまい、完治が困難な状況になってしまいます。

代表的な蹄病は白帯病、蹄底潰瘍、蹄尖潰瘍です。原因は多岐にわたります。過密な飼養環境、滑りやすい通路、牛床デザイン、削蹄の不備、代謝障害、栄養管理などが挙げられます。蹄病の種類と発生個所の適切な識別を行うことが農場における発生原因を特定し対策する上で重要です。例えば農場において蹄底潰瘍の発生が多い場合、牛の起立時間が長時間にわたっていることや削蹄の不備が考えられます。暑熱期には横臥時間が少なくなり、起立時間が多くなりますので、積極的な暑熱対策や削蹄頻度を高めることが対策になるかと思います。

感染性の蹄病

（出典：Hoard's Dairyman,Vol.159, No.14,Aug.25,2014）

先述した白帯病や蹄底潰瘍のような組織障害とは異なり、趾間部、蹄玉、趾間溝の皮膚に発生します。代表的な蹄病は趾間フレグモーネ（趾間腐乱）、趾皮膚炎（DD）、です。湿潤、劣悪な衛生環境状態において趾間組織の障害・腫れ・軽度から重度の跛行が特徴です。牛床を常に清潔で乾燥した状態を保ち、適切なフットバスプログラムの継続や感染を広げないための防疫が対策となります。

●趾間フレグモーネ（趾間腐乱）

趾間皮膚の感染症です。急性では発熱（39・5℃～40・5℃）が見られます。皮膚の外傷や擦り傷からフソバクテリウム属などの細菌が侵入し感染します。壊死と炎症が発症の原因とされています。

●趾皮膚炎（DD）

鮮やかな赤色もしくは灰色をした円形の皮膚の爛れで、後肢の蹄球上部に見られます。不衛生な状態が低酸素環境を発生させ、トレポネーマ属と複数の細菌との混合感染が原因とされています。一度牛群が趾皮膚炎に感染すると、根絶は難しいです。症状に気づく前に広まってしまいます。趾皮膚炎の抑制には子牛、育成、搾乳、乾乳までの総合的な予防管理が必要となります。

図１　潰瘍病変（自己撮影）

蹄の管理

（出典：Hoard's Dairyman,Vol.159, No.14,Aug.25,2014）

●フットバス

蹄の皮膚感染（趾間フレグモーネ、趾皮膚炎）の治療、抑制、予防として利用されます。感染性でない蹄病の場合は、限られた効果しかありません。また、フットバスは清潔な状態でなければいけません。蹄を清潔にし、消毒するためにフットバスを使用する必要があります。本浴

図２　ウォークスルーフットバス（YouTubeより引用）

槽の前に予備浴槽を活用するのも良いと思います。その際は真水や中性洗剤を加えた水を使用します。冬季の氷点下になる時期に凍結防止目的で塩の投入も有用です。

・長さ2・7m～4・5m×幅90cm
・深さ15cm
・容積約380ℓ～650ℓ
・ウォークスルーフットバスを推奨

●フットバス溶液

・5％硫酸銅
最も一般的に使用されていますが、糞などの有機物によって急速に中性化してしまいます。
・5％硫酸亜鉛
趾間腐乱に効果があります。
・3―5％ホルマリン
皮膚への接触や吸引すると有毒ですので作業者の安全性が問題となります。温度が18℃以下になると効果が低下します。有機物の影響を受けないので、長時間利用できます。

何頭の牛がフットバスを通過できるかは蹄の衛生状態によります。フットバスが蹄病の処置・抑制の目的であれば継続使用、予防が目的であれば週に2～3回は使用した方が良いと思われます。

●栄養管理

移行期管理が跛行に大きく影響しますので代謝障害を最小限に留める必要があります。ルーメンアシドーシスなどによって代謝性アシドーシスになり血液の酸素運搬能力が低下します。蹄の末梢血管といった体で最も遠い部位が影響しますのでうっ血や痛み、蹄角質組織障害が起こります。また、起立時間や体脂肪動員にも注意が必要となります。蹄は伸びるのに時間がかかりますので日頃から適切な栄養管理が必要です。今回は蹄の角質形成に大きな役割を担っている微量ミネラルをご紹介します。

・蹄の健康を改善するミネラル
亜鉛（Zn）
300種の酵素主要成分で、ケラチン合成および上皮の維持を促します。また、有機亜鉛は蹄の硬度を高めます。
銅（Cu）
腱などの弾性組織の合成・維持に必要です。また、蹄の硬度を高めるチオールオキシダーゼの生成に有用です。
マンガン（Mn）
骨密度と関節構造を向上させます。
カルシウム（Ca）とリン（P）
骨の形成と骨格の安定性に必要です。
ビオチン
15mg～20mgの給与で蹄の健康性が向上し、跛行の発生が低下すると言われています。特に穀類が多い飼料では微生物によるビオチン生産が減少します。ただし、ビオチン給与による蹄の反応は6ヶ月～1年と長時間を要しますので、やはり日々のメンテナンスが重要です。

（Hoard's Dairyman,Vol.161,No.16,Sep.25,2016）

おわりに

今回は現場で起きている蹄病について簡単に書かせていただきました。

栄養管理に関してご不明な点がございましたら、お近くの全酪連職員へお問い合わせいただければと思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。

岡山県酪農政治連盟第20回通常総会開催

7月28日、岡山県酪農政治連盟（委員長　三宅　穣次）は第20回通常総会をおかやま酪農協本所3階大ホールで開催いたしました。

第20回通常総会も昨年に続き、新型コロナ感染症防止対策により、代議員の書面議決書による総会といたしました。開会にあたり三宅委員長は、冒頭挨拶で、新型コロナ感染防止対策での書面議決での総会となった経緯及び令和2年度活動の総括、ご来賓についてもご列席をご辞退いただいていると述べられました。

その後、各議案について出席者及び議決書により、令和2年度運動報告並びに収支決算の件、令和3年度運動方針と収支予算案の件、会費賦課徴収の件、役員手当支給に関する件について慎重審議され、全ての議案は可決されました。

【スローガン】

・指定団体制度機能・役割の維持と酪農生産基盤の回復対策を強化しよう
・配合飼料価格安定制度の更なる充実を図ろう
・生乳の増産と牛乳・乳製品の消費拡大と理解醸成を図ろう
・自給飼料生産を拡大しコスト低減を図ろう
・県内後継牛を確保し経営安定を図ろう

今後、会員皆様の貴重な意見、要望をいただきながら国、県に要請活動を展開してまいります。ご指導、ご協力願います。

（岡山県酪農政治連盟　事務局）

ひろば

酪農家への就農という就職活動

奈義町　横山　譲

皆さんこんにちは。

奈義町の横山譲と申します。現在、奈義町の地域おこし協力隊として酪農への就農を目指して活動しています。

奈義町に来る経緯としては、北里大学で畜産を学び、青森県庁に就職して畜産業への支援等を行った経験から次第に自分で酪農を経営したいと考えるようになり、就農方法を模索していたところ奈義町で地域おこし協力隊として就農を目指す活動ができることを知りすぐに応募しました。

岡山県はジャージー牛の飼育頭数や和牛の肥育成績など全国的にも評価されており、牛飼いとしてのノウハウが詰まっている県だと感じています。

奈義町では子育て支援も充実していることから安定した子育てをしながら、就農に向けた活動をしていきたいと考えています。

岡山県に令和3年4月に来て、4ヶ月という短い間ですが、複数の酪農家さんのところに研修に入らせてもらい、飼育管理技術や経営について勉強しています。

さまざまな経営を勉強したいので、これからも多くの酪農家さんのところに研修に入りたいと考えています。

現在、日本では酪農家が令和2年から令和3年の間で全国で約5千戸が離農されているという状況にあり、今後も高齢化が進むにつれて、離農戸数は増加していくのではないかと考えています。

酪農戸数が増えない要因の一つとして新規参入の難しさがあると考えています。

農業全体の新規就農者は53,740人、そのうち新規参入者は3,580人と低く、新規参入者が全体の約7%に留まっている状況です。

農業全体で新規参入が難しい状況の中で酪農はさらに施設や機械、土地に大きな投資が必要となるため、より新規参入は困難な業界であると言えます。

そこで新規就農者を増やし酪農家の離農戸数を減らすには、新規参入を目指す新規就農者への経営継承を促進することが重要だと考えています。

私にとってもどのような方法で就農するかは大きな課題であり、その解決方法の一つが経営継承ではないかと考えています。さまざまな地域の状況や酪農家さんの考えを勉強し、経営継承できる牧場等探していくことが私の地域おこし協力隊の活動の一つとなっています。

非農家出身の私が就農することができれば、地域としてもモデルケースとなり、酪農への就農を考える人が増えるきっかけになれると考えています。

地域おこし協力隊としての活動は3年という期限付きですが、さまざまな場所で、たくさんのことを学んでいきたいと思います。今後もよろしくお願いします。

奈義町（現代美術館と那岐山）

加茂料理教室

7月29日、「ふれあい料理倶楽部」の方を対象に、牛乳を使った料理教室を津山市加茂町福祉センターで行いました。

ふれあい料理倶楽部は高齢者の方を対象に、料理作りを通して自身の健康について考えるとともに、互いに交流を深めることを目的に毎月1回開催され、毎年この時期に講師依頼をいただいています。津山地区酪農女性部の方にもお手伝いいただきました。

今回のメニューは、暑い中でも短時間で調理でき、食欲もわく「簡単！時短カレー」「夏野菜のサラダ（和風ドレッシング）」「焼きバナナのティラミス風」の3品を作りました。「簡単！時短カレー」は、カレー作りの材料となるジャガイモ・玉ねぎ・にんじんを適当な大きさに切りミキサーにかけ滑らかな状態にし、合いびき肉を炒めた鍋に入れ、牛乳とカレー粉などの調味料を加えひと煮立ちさせたら完成です。「和風ドレッシング」は、味噌と酢などの調味料と牛乳を合わせます。サラダは、夏野菜のきゅうり・トマト・オクラ・レタスにしました。ドレッシングは焼きナスなどにも合いそうな味です。「焼きバナナのティラミス風」は、半量のバナナは潰して牛乳・砂糖・レモン汁で調味し、半量はスライスしてバターで焼きます。器に焼いたバナナを入れ、潰して調味したバナナ液を流し入れて冷蔵庫で冷やせば出来上がり。（蛇足ですが、長時間冷蔵庫で冷やしても固まりません…）

カレーの野菜はミキサーにかけてしまうので、「これなら野菜嫌いでも食べられそう」「短時間で調理できて、火もあまり使わないから暑い時期でも作りやすい」と好評でした。今回はその場で試食せず、持ち帰りいただいたので、食べた感想はお聞きできませんでしたが、「バナナを焼くなんて初めて。いつもそのまま食べていたからどんな味か楽しみ」といった感想も聞かれました。

今後もさまざまな活動を通じて牛乳の消費拡大を行っていきたいと思います。

（生乳課）

調理のようす

お礼

このたび、津山市　中尾由美子様より見舞返礼金として、（一財）おからく教育振興会に金一封をご寄付いただきました。

事業主旨に従い、有効に活用させていただきます。

ありがとうございました。

理事会報告

令和3年7月30日、第248回理事会を理事11名、監事3名が出席し、開催した。

長恒組合長より酪農一般情勢等について報告された。

その後、次の事項を協議し、決定した。

○令和3年度生乳需給安定化対策

令和3年度6月の生乳需給安定化対策の進捗状況等について報告した。

○鏡野CS生乳管理システムの更新について

鏡野CS生乳管理システムの老朽化に伴い、システム更新を行うことを承認した。

○会計システムの更新について

会計ソフトの保守が終了することに伴い、電子申告に対応したシステム更新を行うことを承認した。

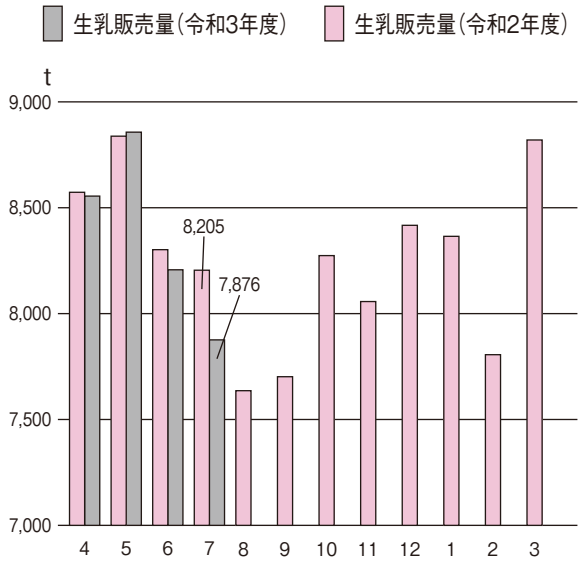
○酪農ヘルパー利用規約一部改正について

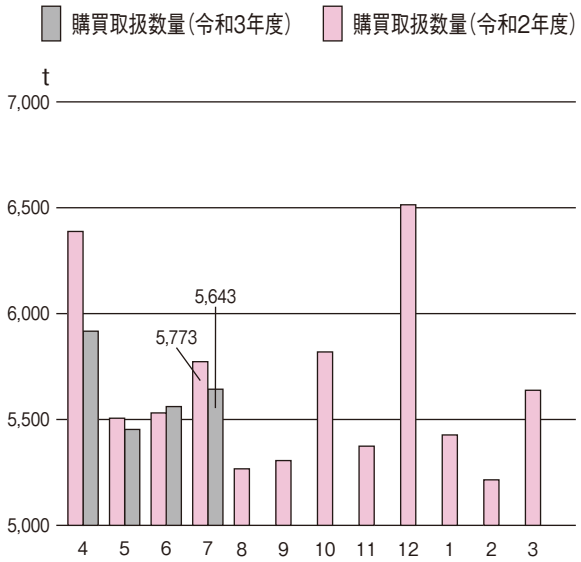
月間出役計画の利用規約のうち変更・キャンセルの事項を追加することについて協議し、改正を決定した。

○報告事項

衛生管理基準対策、生乳出荷における異物混入等の注意喚起、資産査定総括表、第1四半期苦情等について報告した。

おからく事業実績





生乳統計

※中央酪農会議速報より抜粋

地域	月	生産量（トン）	用途別処理量（トン）			前年比（%）			
			飲用乳等向け	乳製品等向け	その他	生産	飲用	乳製品	その他
全国	7	604,310	310,834	143,112	150,364	101.2	93.0	116.1	107.5
	4～7	2,457,397	1,254,849	622,639	579,903	101.6	99.4	102.8	105.3
岡山県	7	7,874	7,720	76	78	96.3	96.4	85.4	94.0
	4～7	33,452	31,921	1,137	394	98.7	98.4	109.2	100.5
北海道	7	351,146	76,823	128,597	145,726	102.3	80.3	114.4	107.8

北海道初妊牛価格

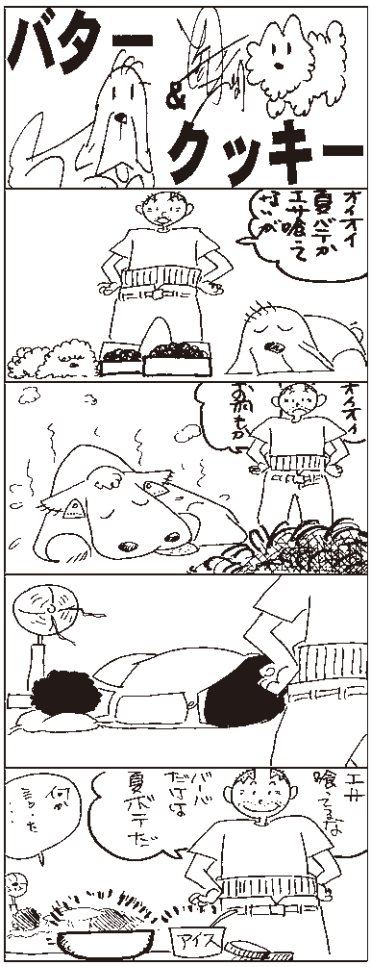
8月については、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、北海道では猛暑・干ばつ、都府県では多雨と対照的な悪天候となり、平均価格は税込65万8千円（前月比1万9千円安）と弱含みで推移しました。

9月については、秋分娩の取引となり出回り頭数は増加が見込まれるものの、新型コロナウイルスの影響長期化により導入需要には様子見感が漂い、相場は弱含みで推移することが予想されます。

表紙の紹介

先月（8月号）に続き、令和2年度びなんフォトコンテスト事業の優秀賞（笠岡市、イーストマウンティン・デーリィ出展）作品です。

餌寄せロボットには負けない若すぎる丁寧なPowerと〝同一目線〟での呼びかけ、まさに家族型経営の微笑ましい一幕です。



9月の主な行事

24日　管理職会議

30日　理事会

国民の祝日の移動に伴う組合業務のお知らせ

10月11日(月)は、通常業務といたします。（スポーツの日が7月23日に変更したため）